

重点目標に焦点化した学校評価

札幌市立手稲鉄北小学校

I はじめに

ポイントを絞った学校
評価に

1 本校における学校評価のねらい

本校においては、昨年度まで教職員による年度末反省を中心とした学校評価が行われてきた。そこでは、校務組織・分掌の運営面での網羅的な反省が中心となり、ポイントを縛った十分な改善の成果が見えにくいものであった。そこで、学校関係者評価の取組を機に、保護者・地域を含めた外部アンケートとの連携を意識した新たな学校評価の視点に立った学校評価のプロセスづくりを模索することとした。

そのために、今までの本校の学校評価のプロセスを生かしながらも、思い切った改善を加えることにした。一つめは網羅的な学校評価ではなく、重点目標をもとに精選し具体的かつ明確な評価項目を設定することである。二つめは教職員、児童、保護者に対するアンケート項目のリンクである。このことにより、児童の育ちを通して学校と保護者とが一体となった学校改善に取り組んでいくことをねらっている。

2 昨年度の学校評価の結果をもとにした改善点

本校では、昨年度の学校評価及び校長より示された学校経営方針を基に、以下のように4つの重点目標を設定した。重点目標は、それぞれ6から7項目の具体化の方策を設け、目標と実現の手だてを明確にしている。

- ① 確かな学力の育成。
- ② 豊かな心の育成。
- ③ 健やかな身体の育成。
- ④ 保護者・地域に信頼される学校づくり



地域の方と一緒に花壇整備（6年）

II 本校の学校評価システム

自己評価システム

1 自己評価の充実を図る組織体制

本校では、教務主任、総務、学年代表、各部長で構成される学校評価委員会で評価項目や自己評価の原案を検討し、職員会議で全職員に提案している。学年、校務各部に足場があることで、学校評価にかかわる評価項目の設定や改善策の策定において緊密に連携を取り合うことができる。

2 学校関係者評価の円滑な実施に向けた取組

本校では、今年度初めて学校関係者評価委員会を組織し、学校関係者評価に取り組んできた。年間3回の学校関係者評価委員会の開催だけでなく、学習参観や運動会、学習発表会などの行事の参観を通して学校に足を運んでいただけるよう働きかけている。

Ⅲ 学校評価等の年間計画

月	自 己 評 価			学校関係者評価
	学 校	児 童	保護者・地域	学校関係者 評価委員会
4	<ul style="list-style-type: none"> 職員会議（学校経営方針） 学習参観・懇談会 家庭訪問 	<ul style="list-style-type: none"> 全国学力・学習状況調査（6年） 学力調査（2～5年） 	<ul style="list-style-type: none"> PTA総会 前田地区青少年育成委員会 	
5	<ul style="list-style-type: none"> 運動会 学校評価委員会① 	<ul style="list-style-type: none"> 知能検査（2・5年） 運動会がんばりカードの活用 	<ul style="list-style-type: none"> 交通安全実行委員会 鉄北プラタナスの会 手稲鉄北まちづくり協議会 	<ul style="list-style-type: none"> 運動会観覧
6	<ul style="list-style-type: none"> 校内学びの支援委員会全体交流会① 学習参観・懇談会、学校説明会 子どもの育ちを見取る会① 		<ul style="list-style-type: none"> 稲陵中学校区青少年健全育成推進会総会 前田中学校区青少年健全育成推進会総会 前田ふれあいまちづくり協議会総会 	<ul style="list-style-type: none"> 学校関係者評価委員会①
7	<ul style="list-style-type: none"> 夏あかり集会 教育相談① 教職員中間評価の実施 学校評価委員会② 	<ul style="list-style-type: none"> 子どもの実態に関する調査 		
8				
9	<ul style="list-style-type: none"> 学習参観・懇談会 	<ul style="list-style-type: none"> 前期通知表 		<ul style="list-style-type: none"> 学校関係者評価委員会②
10	<ul style="list-style-type: none"> 学習発表会 校内学びの支援委員会全体交流会② 集団下校訓練 学校評価委員会③ 	<ul style="list-style-type: none"> 学習発表会がんばりカードの活用 		<ul style="list-style-type: none"> 学習発表会観覧
11	<ul style="list-style-type: none"> 子どもの育ちを見取る会② 土曜参観日（地域公開日） 学校評価委員会④ 	<ul style="list-style-type: none"> クラブ個人カードへの記入 いじめの状況等に関する調査 		<ul style="list-style-type: none"> 地域公開日の参観
12	<ul style="list-style-type: none"> 教育相談② 教職員自己評価の実施 鉄北祭 	<ul style="list-style-type: none"> 委員会個人カードへの記入 	<ul style="list-style-type: none"> 保護者アンケート実施 	
1	<ul style="list-style-type: none"> 保護者アンケート結果公表 学校評価委員会⑤ 			
2	<ul style="list-style-type: none"> 学習参観・懇談会 新1年生体験入学・保護者説明会 子どもの育ちを見取る会③ （学年・学級経営の反省） 	<ul style="list-style-type: none"> 中学校進学説明会（6年） 	<ul style="list-style-type: none"> 前田中学校区青少年健全育成推進懇談会 	
3	<ul style="list-style-type: none"> 市教委へ自己評価及び学校関係者評価書の提出 自己評価書及び学校関係者評価書の公表 懇談会 卒業証書授与式 	<ul style="list-style-type: none"> 中学校教員による授業参観 後期通知表 		<ul style="list-style-type: none"> 卒業式出席 学校関係者評価委員会③

IV 学校評価の方法

重点目標に絞った評価項目

1 自己評価

(1) 項目の設定

校長の学校経営方針を受けて、重点目標の「確かな学力の育成」「豊かな心の育成」「健やかな身体の育成」「保護者・地域に信頼される学校づくり」を達成するための具体的方策に基づいて 25 項目を設定し、A・B・C・Dの4段階で評価することにした。中間自己評価を7月に、年度末自己評価を1月に行い、問題点があれば年度途中であっても改善していけるようにした。また、教職員自己評価の項目は、未実施のため評価不能な項目を除いて中間評価と年度末評価とで一致させている。

年度末学校評価では、重点目標の 25 項目の他、校務分掌の各部・委員会で検討された独自項目と合わせて評価する形式とした。また、自由記述欄を設け、意見・改善点を記入するようにした。

(2) 効率的な外部アンケートの実施

・児童アンケート

昨年度までは実施していなかったが、今年度から、教職員の中間自己評価及び教育相談会（個別懇談）に時期を合わせ、1学期（7月初め）に実施することにした。教職員と児童の意識の違いを検証することにより、中間自己評価の分析に活用するとともに、教育相談の際の児童理解の資料として活用することをねらっている。

・保護者アンケート

今年度から、年度末評価に合わせて12月に一本化して実施（昨年度までは9月と1月の2回）することにした。学校教育全般にかかわる分野と児童の育ちに関わる分野について保護者の評価を求めるアンケートとした。アンケート項目は、児童・保護者共通とし、教職員自己評価の25項目のうち、児童の育ちや学校の取組の様子など評価しやすい項目に絞って13項目とした。質問内容の文面は、学校としての取組やねらいを詳しく載せることで、本校の教育活動について理解を深めてもらうことも意識して作成した。

教職員自己評価と共通する項目については、児童・保護者・教職員それぞれの意識の違いや共通性を分析し、学校評価に活用していくこととした。

・地域アンケート

地域町内会長を対象に、地域から見た本校の児童の育ちや学校と地域の連携についてのアンケートを実施している。項目は3点のみで、記述式である。今年度からは、学校関係者評価委員にも送付し、回答をお願いした。

(3) 結果の集計と分析・自己評価書の作成

教職員自己評価は、重点目標の25項目をA・B・C・Dの4段階で評価し、項目ごとに点数化した。「A：よい～4点」「B：おおむねよい～3点」「C：あまりよくない～2点」「D：改善が必要～1点」とし、平均値から達成度を求めた。関連する項目について、校務分掌各部・委員会ごとに分析、検討し、改善策の見解を出すようにしている。

児童・保護者アンケートは、担任が学級分を集計し、評価委員会で取りまとめて集計し、分析した。保護者アンケートの自由記述については、意見・要望として総務がまとめ、学校評価の資料とした。

(4) 改善策の検討

教職員自己評価の集約結果と地域及び保護者アンケート結果は、校務分掌各部・委員会での検討を経て、各部・委員会の原案を基に学校評価全体会で討議し、改善策を決定する。特にC・D評価の多い項目については、直ちに改善の成果が見えるように速やかに対処することを心掛けることとした。

教職員自己評価とリンクした外部アンケート

本校の取組のアピールの場としての保護者アンケート

学校改善のありある学校関係者評価に



第1回学校関係者
評価委員会

2 学校関係者評価

(1) 学校関係者評価委員の構成と役割

本校の学校関係者評価委員会は、学校評議員（3名）、PTA会長（1名）、校区の児童館館長（1名）計5名で構成している。

実際に学校に足を運んで、子どもの育ちや学校の取組の様子を見ていただくことが重要と考え、校区に在住の教職経験者、地域町内会長、児童館館長など日常的に子どもに接する機会がもてる方に依頼した。学校関係者評価委員会では、中間自己評価（9月）と年度末自己評価（3月）について、学校側から自己評価結果の説明をし、学校運営や教育活動が適切かどうか評価をいただくことにしている。

(2) 学校関係者評価を生かす取組

学校関係者評価委員会が実質的にありあるものとするためには、本校の子どもの様子を実際に見て評価してもらうことが必要である。そこで、年3回の学校関係者評価委員会は、学習参観日や土曜参観日に合わせて開催することとし、委員の方に授業を参観してもらい、学校の取組や子どもの様子について懇談している。

V 評価結果の公表

保護者・地域と連携
するための学校評価

1 公表の方法

年度末学校評価については、2月に学校評価全体会で検討した結果を自己評価書にまとめ、学校関係者評価委員会で適切かどうかを評価していただいたうえで、3月に学校ホームページ及び学校だよりで公表することとしている。また、自己評価を受けた改善の方向性や具体的な取組については、新年度の学校教育説明会で保護者に説明することとしている。学校関係者評価の結果も同様に学校ホームページ及び学校だよりで公表することとしている。

2 公表の効果

学校改善への学校としての姿勢や取組を保護者や地域に示す良い機会であり、保護者・地域住民の理解と協力をより深めることができた。保護者・地域に信頼される学校づくりや保護者・地域と連携した教育活動を進めるうえで、役立つ内容としていきたい。



学校教育説明会

VI 成果と課題

1 成果

- ・重点目標と評価項目を一致させることにより、教職員の具体的な取組が明確になるとともに、より日常的に重点目標を意識して教育活動を進めることができた。
- ・外部アンケート（児童・保護者アンケート）の評価項目を教職員自己評価とリンクさせることにより、学校評価としての位置付けを明確にすることができた。
- ・学校の教育活動のねらいや取組をアピールする機会とすることができた。

2 課題

- ・保護者アンケートについては、質問内容についてよくわからず答えられないとの声があった。よりわかりやすく答えやすいアンケートを目指す必要がある。

【参 考 文 献】

学校関係者評価を活かしたよりよい学校づくりに向けて
「札幌市の学校評価」
平成20年度「学校評価の実践のための実践研究」集録

文部科学省
札幌市教育委員会
札幌市教育委員会

教職員 年度末学校評価一覧表

名前 ()

分野	評価項目	A	B	C	D
Ⅰ 確かな学力の育成	1 基礎基本の定着を図る授業が行われたか				
	2 校内研究を通して授業の改善が図られてきたか				
	3 TTの充実を図り、個に応じた指導を進めてきたか				
	4 家庭学習の習慣化を促す取組が図られてきたか				
	5 教育ボランティアや出前講座等の積極的活用が図られてきたか				
	6 学力検査・知能検査の分析結果を、個に応じた指導に生かしたか				
Ⅱ 豊かな心の育成	7 自然体験・社会文化体験・ボランティア体験などの充実が図られたか				
	8 週2回の「よみタイム」は有効であったか				
	9 異学年交流は、人とのかかわりや楽しさを実現する場であったか				
	10 きまり意識を身に付け、場に応じた行動（あいさつなど）がとれる子どもを育てる指導が行われたか				
	11 昨年度までの研究成果を生かし、道徳教育の充実が図られてきたか				
	12 幼児・高齢者との交流、環境にかかわる学習活動を計画し、実践できたか				
Ⅲ 健やかな身体の育成	13 子どもの目にとまる校内環境を整えることができたか				
	14 ランチルームや給食指導を通して、食に関する指導の充実が図られたか				
	15 性指導を通して、性に関する指導の充実が図られたか				
	16 保健学習の充実や体力増進のための遊びの奨励が図られてきたか				
	17 学びの支援委員会は全職員の共通理解の下で、有効な支援が図られたか				
	18 校内外でのけがや事故の防止のための有効な指導が行われたか				
Ⅳ 学校への信頼される 保護者・地域に	19 食物アレルギーへの対応は適切に行われていたか				
	20 地域関係諸団体等と連携した安全確保の取組は図られていたか				
	21 幼稚園・中学校・大学との交流、連携のための取組は適切に行われていたか				
	22 学校評価の改善・実施・公表のための取り組みは適切に行われていたか				
	23 学習参観日の地域への公開は、保護者・地域に開かれた学校づくりのために有効であったか				
	24 事故、事件、災害などに対して迅速かつ的確な対応ができるように共通理解が図られていたか				
	25 いじめ、不登校への対応は適切に行われていたか				

学校生活アンケート 中学年

年 組 名前

あてはまると思うところに○を書いてください。

		◎	○	△	×
1	「友達や先生の話をしっかり聞くことができましたか？」				
2	「進んで発表できましたか？」				
3	「勉強はよくわかりますか？」				
4	「宿題や家庭学習は進んでできましたか？」				
5	「『よみたいム』では進んで本を読むことができましたか？」				
6	「他の学年の人となかよくすることができましたか？」				
7	「進んであいさつができましたか？」				
8	「学校のきまりを守ることができましたか？」				
9	「給食時間は、好き嫌いをしないで食べることができましたか？」				
10	「休み時間に外や体育館で元気に遊びましたか？」				
11	「けがや事故に気をつけることができましたか？」				

資料3 保護者アンケート

《2》お子様の様子について（ご家庭でのお子様の様子を中心にお答えください）

*項目ごとに4・3・2・1の欄に○印をお付けください。

<4~よく当てはまる 3~おおむね当てはまる 2~あまり当てはまらない 1~当てはまらない>

No.	項 目	4	3	2	1
1	本校では、友達や先生の話をしっかり聞くなど基礎的基本的な学習態度を身に付けさせることを大切に授業を目指していますが、お子さんは、人の話をしっかり聞く態度が育っていますか。				
2	本校では、進んで発表したり、交流したりすることを通して主体的に学習に取り組む子どもを目指して授業づくりを進めていますが、お子さんは、自分の気持ちや考えを相手に伝えることができているか。				
3	本校では、どの子にもわかる授業づくりの工夫やTT学習の推進によって、基礎基本を大切に授業を目指していますが、お子さんは学習内容を理解できていますか。				
4	本校では、自ら進んで学習に取り組む意欲や学習習慣を身に付けさせるために宿題や家庭学習に力を入れていますが、お子さんは宿題や家庭学習に進んで取り組んでいますか。				
5	本校では、本年度から「よみたいム」を週2回に増やしたり、PTAサークル「ひばり」による読み聞かせを低学年の子どもたち全員に聴かせたりしています。このような取組は、お子さんを本好きにするきっかけとなっていますか。				
6	本校では、夏あかりの提灯作りや交流遠足などで他学年との交流を計画的に進めています。このような教育活動によって、お子さんは他の学年の子どもたちと仲良くできるようになりましたか。				
7	本校では、学級指導や書記局・学年委員会による「あいさつ運動」などを通してあいさつの習慣化を図っていますが、お子さんは進んであいさつをすることができていますか。				
8	本校では、学級指導や道徳の授業などを通してきまりを守ることの大切さを意識づけしてきましたが、お子さんは、帰宅時刻などご家庭でのきまりを守る意識が育ってきていますか。				
9	本校では、栄養教諭による食指導やフードリサイクル事業への取組を行っています。このような教育活動を通して、お子さんは、食に関心をもち、好き嫌いしないようにする意識が育っていますか。				
	本校では、保健学習の充実や遊びの奨励を通して、健やかな身体の育成を目指してい				